

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- 業況判断D.I.は、「良い」超幅が拡大。

—— 製造業、非製造業ともに「良い」超幅が拡大した。

—— 先行きについては、「良い」超幅が縮小する見通しである。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	電気機械、非鉄金属、木材・木製品、鉄鋼、輸送用機械、紙・パルプ	需要増加
	悪化	食料品、金属製品	コスト上昇・販売数量の減少
非製造業	改善	小売、卸売、対事業所サービス、宿泊・飲食サービス	販売価格の引き上げによる収益改善
	悪化	不動産、運輸・郵便、建設、情報通信	コスト上昇・工期の遅れ

(事業計画)

- 2026 年度は、売上高が前年を上回る計画である。一方、経常利益は前年を下回る計画である。

—— 経常利益は、製造業、非製造業ともに、コスト上昇などから、減益計画となっている。

- 2026 年度の設備投資は、前年を上回る計画である。

—— 製造業は、前年の大型投資の剥落などから、前年を下回る計画である。非製造業は、能増投資などから、前年を上回る計画である。

- なお、2025 年度の売上高、経常利益は前年を上回った。設備投資は、前年を下回った。

以 上